

広島市東部地区連続立体交差事業の見直しの方向性に係る住民説明会の開催状況について

次の日程で、広島市南区及び安芸区において、見直しの方向性に係る住民説明会を開催しました。

1 開催状況

対象地区	開催日時	会場	出席者数
南 区 〔 東青崎町 青崎 1～2丁目 堀越 1～2丁目 〕	平成27年 7月23日 (木)	青崎公民館	約140名
安芸区 〔 船越 1～6丁目 船越南 1～5丁目 〕	平成27年11月 4日 (水)	安芸区民文化センター	約150名
	平成27年11月 6日 (金)		
	平成27年11月10日 (火)		
	平成27年11月11日 (水)		
同 上	平成28年 1月29日 (金)	同 上	約220名

2 説明会での主な質疑及び意見

【南区】平成27年7月開催

- 区画整理事業の遅れに伴い補償金が低下するため、早期に整備してほしい。
- 今回の見直し案は実現性を持って進めてほしい。

【安芸区】平成27年11月開催

- 鉄道の横断が不便になる見直し案でなく現計画での実施を強く求める。
- 引地踏切の存続について強い懸念がある。
⇒引地踏切は踏切延長を約半分にし、接続する道路を拡幅するという改善をしていく。また、他の幹線道路の整備により引地踏切の交通量は激減すると考えている。加えて、歩行者についてはさらなる安全対策を検討していく。
- 的場川西踏切が閉鎖されることは、住民にとって日常生活に必要な交通機能が維持できない。
⇒的場川西踏切は鉄道高架のすりつけ部の途中となるため廃止するが、代替機能として船越中央線を整備する。また歩行者については、踏切近傍での横断機能の確保を検討していく。
- 説明資料中の「検討する」という表現では信憑性がない。
⇒これから具体化していくため「検討」という表現を使っているが、やらないという意味ではなく、何らかの形で機能を確保していきたいと考えている。今後具体的なものを示していきたい。
- 現計画での実施は現実的には厳しいと思うので、より便利な歩行者等の施設を具体化してほしい。

【安芸区】平成28年1月開催

- 危険な引地踏切が残ることについては反対である。
⇒引地踏切は、存続するものの横断距離も半分に、安全性は向上すると考えている。また、東西幹線道路等の街路整備により交通量自体が低下すると考えており、今後、皆様の御意見も伺いながら、立体横断施設の設置の具体化や踏切そのもののあり方（車両規制等）も含めて検討したいと考えている。
- 的場川西踏切の閉鎖により、日常交通の利便性が低下する。
⇒代替機能として跨線橋（歩道橋付）を整備する。また、踏切近傍への歩道橋設置について地元の意見を伺いながら具体化を図る。
- 高齢者等の歩行者に対して、立体横断施設は、不便であり優しくない。
⇒現存する南北の横断箇所の機能確保を行う。また、立体横断施設を設置する際は、バリアフリー対応の勾配やエレベーターの設置など、歩行者の安全性、利便性が低下しないよう配慮する。
- 市と地元との間で個別の話し合いの場を設けてほしい。
⇒見直し案を進めることを基本に、船越地区のまちづくりについては、引き続き、市と地元で協議を行いたい。
- 市議会に提出した請願の内容への対応を説明会で回答するのはおかしいとの意見があった。
⇒これまでいただいた御意見等は請願で示された課題に包含されるものが多かったため引用したものの。